

国立の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 30点 大問4 29点 大問5 21点

2026年度試験問題 目標点 70点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
	(1) 寡占	A	2	問1	内容把握	B	4
	(2) 拭う	A	2	問2	内容把握	A	4
	(3) 蔽か	A	2	問3	理由説明(20字記述)	C	5
	(4) 折衷	A	2	問4	論理展開	B	4
	(5) 辛酸甘苦	B	2	問5	240字作文	D	12
大問2	漢字の書き						
	(1) ショシュウ	A	2				
	(2) テイサイ	A	2	大問5	現古融合文		
	(3) タダちに	A	2	問1	内容把握	B	5
	(4) マキ	A	2	問2	内容把握	A	4
	(5) センコフエキ	B	2	問3	内容把握	A	4
大問3	小説文			問4	語彙	A	4
	問1 心情把握	A	4	問5	内容把握	A	4
	問2 心情把握	A	4				
	問3 心情把握	A	4				
	問4 心情把握	A	4				
	問5 表現の説明	C	4				
	問6 内容理解	B	10	※網掛けが濃い設問は記述の設問です。			

問題分析

- 1 漢字の読み 2 漢字の書き 3 小説文(約4200字)
4 論説文(約3400字) 5 現古融合文(約2000字)

講評 文章量は昨年よりやや減少しているが、大問4問5の作文が200字から240字に増え、短い記述問題(20字以内)が増え記述重視の傾向がある。作文の時間の使い方がポイントとなる。大問5は大問4より先にやるのがお勧め。
1,2 蔽か・折衷・千古不易など語彙の幅を広げる練習が必要。4字熟語は頻出。多くの読書量により語彙力を増やすことが、高得点をとるためには必須。
3 額賀澤「風に恋う」
低迷している吹奏楽部に、コーチとの面談を経て、一年生の茶園基が部長に任命されるまでの話。部活がらみは自分の経験もあり、読みやすいはず。心理状態もわかりやすく、高得点を取らないといけない問題。
4 山竹伸二「共感の正体」
昨年に引き続き、「哲学」分野の文章。「SNSは最適化のアルゴリズムに支配されているが、現実世界では予見不可能な偶然性がある」ことの関する文章。作文の題「自分の利益を越えて、相手を助けたいという思いを抱く」について現代社会における「公平の道徳性」の事例を挙げて、240字以内で書け。
5 河添房江「唐物の文化史」
設問自体は平易。形式に慣れることが重要。時間配分はしっかり考える必要あり。

国立の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点(記述3題)

2026年度試験問題 目標点 52点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	平面図形(円)		
	問1 根号を含む計算	A	5	問1	円	A	7
	問2 2次方程式	A	5	問2	相似の証明	B	10
	問3 箱ひげ図	B	5	問3	三角形の求積	B	8
	問4 さいころの確率	A	5				
	問5 作図	B	5				
				大問4	空間図形		
大問2	二次関数			問1	立体の通過部分の体積	B	7
	問1 比例定数	A	7	問2	線分の通過部分の面積	C	10
	問2 直線の式	B	8	問3	線分の長さ	D	8
	問3 座標平面上の図形	B	10				
				※網掛けが濃い設問は記述の設問です。			

問題分析

- 1 小問集+作図 2 関数 二次関数
3 平面図形(円) 4 空間図形(回転移動) 出題傾向に変化はなし

講評

昨年とほぼ同じレベル。取るべき問題をしっかりとることが重要。
得点すべき問題 大問1 1・2・4 大問2 問1・3 大問3 全て 大問4 1
1 小問=易しいと思いがちだが、今年であれば問3箱ひげ図・問4の無理数の作図は、易しくはないので、ここで焦らないことが必要。
2 関数の典型的な出題が多く、きっちり得点したい。
今年も問3は座標を文字で置き、方程式に持ち込む典型的なパターン。
3 平面図形(円)からの出題。証明は今年も気づきやすい問題であった。問3は私立てでよく出されるパターンだが、慣れていないと難しく感じる問題。
4 例年通り空間図形からの出題。三角柱を指定された辺を軸として回転移動させる問題。通過部分を求めさせる問題は初見では難しいかもしれない。問3は操作数も多く、難易度が高い。

国立の英語

配点 大問1 20点 大問2 40点 大問3 40点

2026年度試験問題 目標点 48点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問2	長文読解		
	問題A 対話文1 内容一致	A	4	問7	適語補充	D	4
	対話文2 内容一致	A	4	問8	内容不一致	C	4
	対話文3 内容一致	A	4	問9	内容一致	C	4
	問題B Q1 内容一致	A	4	大問3	長文読解		
	Q2 内容一致記述	C	4	問1	語句整序	C	4
				問2	内容把握	A	4
大問2	対話文読解			問3	条件英作文(20~30語)	D	6
	問1 適語補充	A	4	問4	英文整序	B	4
	問2 適語補充	A	4	問5	内容把握	B	4
	問3 内容一致	A	4	問6	内容把握	C	4
	問4 適語補充	C	6	問7	内容一致	C	4
	問5 書き換え	C	6	問8	条件英作文(50~60語)	D	10
	問6 語句整序	B	4	※網掛けが濃い設問は記述の設問です。			

問題分析

- 1 リスニング 2 対話文
3 長文読解

講評

設問数は昨年より2台減ったが、完答形式の記述問題が2題出題された。形式にも若干変化がみられる。他の自校作成校の過去問も練習するとよい。
1 BのQ2の正答率は18.8%。複数形にしまったミス、副詞の誤用などに注意。
2 「比重・密度」に関する対話文 サメが浮くためのメカニズムから飛行機のつばさと同様のひれの関係を説明。全体的に理系的思考力が要求される問題。今年も他校でよく言出題される「イラストを選択する問題」が出題された。
3 長文読解 小惑星の派遣をテーマにした「友情・夢・再会」をテーマにした文章。英作文が難しい。本文の流れに合うように要点をまとめるにはかなりの力が必要。問8 50~60語で答える。本文中にある単語は使うが、自分の思ったことを書けるように日々練習することが求められる。

2026目標点 英数国170+理社175=345
目標内申 62/65

難易度の標記 A:易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B:標準(落とせない) 目安→正答率79~60%
C:やや難問(可否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D:難問(1問でも出ればよし) 目安→正答率39~11%
E:超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下